



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『それでこそロータリー』
- ◆卓話 石川第4分区ガバナー補佐  
吉村多作氏(穴水RC)

第2437回例会(8月6日)報告

司会 日吉謙一 SAA委員

- ◆開会点鐘 中室勝郎会長
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆会長の時間 中室勝郎会長

「会員増強について」

先進国でのロータリーの会員の減少が止まりません。問題点は、3つあるといわれています。一つは経済問題です。不況下において、会費や会員間の付き合いの費用が負担になるという点です。二つ目は多忙になる事。特に週1回の例会が多忙に映るようです。

次にロータリアンが、ロータリーの真理を理解していない為、ロータリアンからロータリーの精神が伝わってこないのが理由です。

ロータリアンがロータリーを知り、魅力をしっかりと伝えることが出来れば、ロータリーに入り自己研鑽をしたいと思う人が現れると考えます。

ロータリーの魅力を自ら知る方法の例として、①始めにロータリーの誕生とその背景を知る。②次にロータリーの精神が構築され、発展する過程を知る。そこにはチェスレー・ベリーのシステム化やアーサー・F・シェルドンの職業奉仕の理念を知ることが出来ます。そして、③現在のロータリー活動のあらましを知ることで、他の人へロータリーを伝える最も大きな要素になると想います。自ら所属する団体の身元確認が大切です。

◆幹事報告 西 豊幹事

- ・河北ロータリークラブより活動要覧を拝受。
- ・本日の8月理事会の報告。
- ・来週はお盆休会となります。
- ・8月20日はガバナー補佐訪問となるため、卓話がガバナー補佐のお話に変更になります。
- ・創立50周年についての大きな予算が約500万円と承認されました。その中で、会員の登録料は取らない。式典で350万円。事業で決まっているのは物故会員の法要。ロータリーの手引書発刊。その他の事業案がありましたらご提案ください。100万円くらいが予算想定です。

◆委員会報告

- ◎職業奉仕委員会 久岡政治委員長  
・輪島高校の模擬面接が9月4日(水)9:00~行われます。理事会・職業奉仕委員会を中心にお声掛けいたしますが、ご参加の程お願いします。

- ◎会員増強委員会 大積善也委員長  
・8月は会員増強・拡大月間になります。今年純増2名が目標です。職業分類で空いている職業の候補者の推薦をお願いします。

◆出席報告 今井善弘出席・ニコニコBOX副委員長

8月6日の暫定出席率: 60.53%  
(出席23名、欠席15名)  
7月23日の確定出席率: 86.84%  
(出席24名、欠席14名、メーク加算9名)

◆ニコニコBOX報告 今井善弘副委員長

・八井さんの卓話を楽しみにしています。  
中室勝郎会長、松岡恵水会員、徳野喜一郎会員  
・八井さん独身も残り1ヶ月ぐらいますが、気持ちはいかがですか?本日の卓話よろしくお祈いします。

西 豊幹事

・結婚祝いを頂きました。ありがとうございます。  
八井貴啓会員  
・御祝いを頂きましてありがとうございます。

山瀬秋雄会員

◆卓話 八井貴啓会員

テーマ『イギリスロック史について』

ロックンロールミュージックは1950年代に黒人音楽と白人音楽の融合でできた音楽で、アメリカで定着する。

イギリスの初代はビートルズと思われがちだが1958年にデビューしたクリフ・リチャードが初めて、1962年のビートルズで確実なものとなる。でもビートルズはロックという呼び名ではなくリパブルサウンドと呼ばれた。そしてビートルズはアメリカに渡り大ブレイク。他にもローリングストーンズとか色々なイギリスロックがアメリカを圧巻し「第一次ブリティッシュブーム」と呼ぶようになる。ビートルズの名作数あれど傑作は「サージェントペパーズ」。1966年からはロックと共に麻薬が流行。

この後ロックがいよいよ変化して行きます。ハードロックとプログレッシブロックが大流行。

ハードロック代表: レッドツェッペリン 「移民の歌」  
プログレッシブロック代表: ピンクフロイド 「吹けよ風呼べよ嵐」

1970年代は、プログレッシブ・ロック…お金や高度な技術が必要なロックに支配されていた。「プログレにあらざんばロックにあらざ」と言わんばかり。それに対して「ロックは金持ちだけのものではない」とシンプルなロックに回帰したロック・スタイルが、1970年代に生まれたパンク・ロックだった。

失業率が高く不満を抱えた労働者階級の若者たちの間で熱狂的に支持されていった。また、短くカットした髪を逆立たせ服を破いたスタイルも、パンク・ファッションとして若者の間でブームとなる。代表はSEXピストルズ。でもセックス・ピストルズの解散以後、急速にパンクロック・シーンは変容、わずか数年ほどの短期間でこのムーブメントは終息していく。続きはまた来年。

◆閉会点鐘 中室勝郎会長

[編集: 谷口正和会員]